

會學濟經學大國帝都京

# 叢論濟經

號四第 卷二十第

行發日一月四年十正大

## 論叢

勞働資本協調方法としての利潤配分……………法學博士 田島 錦治

需要曲線供給曲線及び價格曲線……………法學博士 河上 肇

地方所得稅に於ける特別稅對附加稅……………法學博士 神戸 正雄

獨逸直接稅の變革……………法學博士 小川 郷太郎

植民地の財政政策……………法學博士 山本美越乃

## 時論

農業銀行國營の必要……………法學博士 河田 嗣郎

## 說苑

各國貿易概觀……………法學士 小島昌太郎

## 雜錄

Sunderlandの日本文明評……………法學博士 財部 靜治

明代の救濟制度……………文學士 清水 泰次

說苑

各國貿易概観

小島昌太郎

私は本誌一月號に於いて、世界に於ける貨物交通の有様が、今日如何なる現状にあり、又如何なる發達傾向にあるかの概要を、伊太利、英吉利、印度、露西亞、日本、新爾蘭、ポリヰア、葡萄牙、北米合衆國、秘露、白耳義、波斯、獨逸、土耳其、智利、ルーマニア、加奈陀、南亞聯邦、蘭領東印度、諾威、澳地利洪牙利、濠太利、和蘭、ブルガリア、佛蘭西、伯刺西爾、埃及、丁抹、アルゼリア、亞爾然丁、希臘、墨西哥、支那、暹羅、比律賓、モロッコ、瑞西、瑞典、西班牙の三十ヶ國の貨物貿易金額統計を總括して説述した。よりに茲には同一の資料を利用して前論と同じく金額の上より、此等諸國の對外貿易は各々逐年如何なる増進率を以て發達しつゝあるか、並びに此等諸國は世界貨物交通の全量に對して各々如何なる割合を占め居るかを概観するであらう。

此等諸國の一九〇〇年以後に於ける輸入金額、輸出金額、其合計額並びに此等各々の一九〇〇年を基準としたる指數は、既に一月號に掲載したる所であるが、茲に此等諸國の對外貿易増進率を相互比較し易からしめんが爲めに、その一九〇〇年を基準としたる各年の指數を一覽表的に作

\* 第十二卷第一號

成して掲げてみる。即ちそは次の如くである。

各國輸入金額指數年比較表

年次	一九〇〇	一九〇一	一九〇二	一九〇三	一九〇四	一九〇五	一九〇六	一九〇七	一九〇八	一九〇九
伊太利	100	113	116	118	121	124	127	130	133	136
英吉利	100	102	105	108	111	114	117	120	123	126
印度	100	103	106	109	112	115	118	121	124	127
露西亜	100	104	107	110	113	116	119	122	125	128
日本	100	105	108	111	114	117	120	123	126	129
新爾蘭	100	106	109	112	115	118	121	124	127	130
ポリアイア	100	107	110	113	116	119	122	125	128	131
葡萄牙	100	108	111	114	117	120	123	126	129	132
北米合衆國	100	109	112	115	118	121	124	127	130	133
秘魯	100	110	113	116	119	122	125	128	131	134
白耳義	100	111	114	117	120	123	126	129	132	135
波斯	100	112	115	118	121	124	127	130	133	136
獨逸	100	113	116	119	122	125	128	131	134	137
土耳其	100	114	117	120	123	126	129	132	135	138
智利	100	115	118	121	124	127	130	133	136	139
ルーマニア	100	116	119	122	125	128	131	134	137	140
加奈陀	100	117	120	123	126	129	132	135	138	141
蘭領東印度	100	118	121	124	127	130	133	136	139	142
諾威	100	119	122	125	128	131	134	137	140	143
埃地利洪牙利	100	120	123	126	129	132	135	138	141	144

說苑 國貿易概觀

各國輸出金額指數年比較表

年次	一九〇〇	一九〇一	一九〇二	一九〇三	一九〇四	一九〇五	一九〇六	一九〇七	一九〇八	一九〇九
意大利	100	115	118	121	124	127	130	133	136	139
和蘭	100	116	119	122	125	128	131	134	137	140
佛蘭西	100	117	120	123	126	129	132	135	138	141
伯刺西爾	100	118	121	124	127	130	133	136	139	142
埃及	100	119	122	125	128	131	134	137	140	143
丁抹	100	120	123	126	129	132	135	138	141	144
アルゼリア	100	121	124	127	130	133	136	139	142	145
亞爾然丁	100	122	125	128	131	134	137	140	143	146
希臘	100	123	126	129	132	135	138	141	144	147
墨西哥	100	124	127	130	133	136	139	142	145	148
支那	100	125	128	131	134	137	140	143	146	149
暹羅	100	126	129	132	135	138	141	144	147	150
比律賓	100	127	130	133	136	139	142	145	148	151
モロッコ	100	128	131	134	137	140	143	146	149	152
瑞典	100	129	132	135	138	141	144	147	150	153
西班牙	100	130	133	136	139	142	145	148	151	154
世界總額	100	131	134	137	140	143	146	149	152	155





あつて、何れも五割以内の増進である。輸出に就いて言へば、その増進の最も著しきものは、日本(三二三)、亞爾然丁(三二〇)、露西亞(二九一)、支那(二八七)、暹羅(二八六)、波斯(二八一)等であつて、其最も微々たるものはモロッコ(一一〇)、希臘(一一一)、葡萄牙(一一二)、奧地利洪牙利(一一九)、墨西哥(一二六)、西班牙(一三三)等である。而して同じく一九一三年に至るまでに輸出入合計にて増進の最も著しきものは、モロッコ(三八二)、亞爾然丁(三三八)、支那(二九八)、暹羅(二九七)、加奈陀(一八四)、ブルガリア(二七九)、日本(二七三)等で、その趨勢の最も微々たるものは、希臘(一二二)、葡萄牙(一二七)、西班牙(一二七)、墨西哥(一三八)、奧地利洪牙利(一四二)等である。

更に一九一八年の状態を一九〇〇年に比べて之を言へば、輸入増進の最も著しきものは伊太利(九四三)、モロッコ(八八一)、日本(五三二)、支那(五一四)、加奈陀(五〇七)、佛蘭西(四七九)亞爾然丁(四三七)、秘露(四二〇)等で、その最も微々たるものは西班牙(七〇)、丁抹(一九二)、印度(一九二)、瑞西(二〇〇)、ボリヴィア(二〇二)、濠太利(二二五)、新爾蘭(二二七)、アルゼリア(二三〇)等である。輸出増進の最も著しきものは日本(九三六)、加奈陀(九一七)、支那(六〇二)亞爾然丁(五一四)、比律賓(四九八)、北米合衆國(四八一)、智利(四七二)、秘露(四四五)等、その最も微々たるものは、佛蘭西(一一六)、西班牙(一一六)、英吉利(一四一)、伯刺西爾(一七九)印度(二二〇)、新爾蘭(二二三)等である。而して輸出入合計に於いて最も著しき増進を示すものは、日本(六九四)、加奈陀(六六八)、伊太利(六三八)、モロッコ(五六〇)、支那(五五四)、亞爾

然丁(四八二)、北米合衆國(四四〇)、比律賓(四一四)、智利(四一三)等で、その最も微々たるものは、西班牙(九七)、丁抹(一八三)、墨西哥(二〇二)、印度(二〇一)、英吉利(二〇七)、瑞西(二一一)、伯利西爾(二二二)、新爾蘭(二二〇)等である。

右は一九一三年及び一九一八年の状態を一九〇〇年に比較しての話であるが、一般的趨勢の上より言へば、輸入輸出共に、順調にして而も著しき發達を示すものは、日本、加奈陀、亞爾然丁、北米合衆國、支那であつて、進歩の最も遅々たるものは、葡萄牙、西班牙、印度、濠太利、瑞西、新爾蘭等である。

## 二

各國の貿易金額増進率は右に述ぶるが如くであるが、之を世界貿易の増進率と比較して、何れの國がそれよりも更に大なる發達を示し、何れの國がそれよりも遅々たる發達をなしつゝあるかを見るに、其有様は次の如くである。國名下の數字は輸入、輸出、及び輸出入合計の各々に就いて一九一三年又は一九一八年の一九〇〇年に對する世界總額の増進率を一〇〇として、之に對する當該國増進率の比數である。

### 一九〇〇—一三年に於ける各國貿易増進率と世界貿易増進率との比較

輸入 (世界増進率一九三を一〇〇としたるものに對する各國増進率の歩合)

モロツコ	三三三	ブルガリア	二一一	亞爾然丁	一九二	加奈陀	一八九	
ボリビヤ	一七七	伯刺西爾	一七四	支那	一五八	暹羅	一四〇	
世界増進率より上	露	一三六	智利	一三三	蘭領東印度	一三二	日本	一二七

世界増進率より上にあるもの				世界増進率より下にあるもの				世界増進率より上にあるもの				世界増進率より下にあるもの			
伯刺西爾	一三三	伯刺西爾	一二七	葡 萄 牙	五九	葡 萄 牙	五九	日 本	一六五	日 本	一六五	日 本	一六五	日 本	一六五
加 奈 陀	一四八	加 奈 陀	一四八	佛 蘭 西	八九	佛 蘭 西	八九	暹 羅	一五一	暹 羅	一五一	暹 羅	一五一	暹 羅	一五一
モロツコ	一九九	モロツコ	一九九	北米合衆國	八二	北米合衆國	八二	獨 逸	一二七	獨 逸	一二七	獨 逸	一二七	獨 逸	一二七
ルーマニア	一二七	ルーマニア	一二七	英 吉 利	九四	英 吉 利	九四	加 奈 陀	一〇七	加 奈 陀	一〇七	加 奈 陀	一〇七	加 奈 陀	一〇七
波 蘭	一一九	波 蘭	一一九	瑞 士	八七	瑞 士	八七	埃 及	九九	埃 及	九九	埃 及	九九	埃 及	九九
伊 太 利	一一一	伊 太 利	一一一	墨 西 哥	六六	墨 西 哥	六六	秘 魯	一〇九	秘 魯	一〇九	秘 魯	一〇九	秘 魯	一〇九
亞 爾 然 丁	一七六	亞 爾 然 丁	一七六	新 西 蘭	九一	新 西 蘭	九一	比 律 賓	一一三	比 律 賓	一一三	比 律 賓	一一三	比 律 賓	一一三
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	葡 萄 牙	五八	葡 萄 牙	五八	波 斯	一四八	波 斯	一四八	波 斯	一四八	波 斯	一四八
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	支 那	一五五	支 那	一五五	諾 威	一二三	諾 威	一二三	諾 威	一二三	諾 威	一二三
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八
露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	露 西 亞	一一三	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八	瑞 典	一〇八

輸出輸入合計 (世界増進率一九二を一〇〇としたるものに對する各國増進率の歩合)

輸出 (世界増進率一九〇を一〇〇としたるものに對する各國増進率の歩合)



世界増進 率より下 位にある もの	佛蘭西	九六	伯刺西爾	九二	英吉利	七二	西班牙	六五
世界増進 率より上 位にある もの	埃及	一三八	摩洛哥	一三六	蘭領東印度	一三五	伊太利	一二八
世界増進 率より上 位にある もの	比律賓	二五五	北米合衆國	二四七	智利	二四二	秘露	二二八
世界増進 率より上 位にある もの	日 本	四八〇	加奈陀	四七〇	支那	三〇八	亞爾然丁	二六四
世界増進 率より上 位にある もの	暹羅	二一〇	暹羅	二〇七	亞爾然丁	一七八	瑞典	一七五
世界増進 率より上 位にある もの	土耳其	九四	瑞典	九二	佛蘭西	九二	丁抹	八九
世界増進 率より上 位にある もの	和 國	九九	新爾蘭	九八	濠太利	九四	北米合衆國	九四
世界増進 率より上 位にある もの	諾威	一〇三	白耳義	一〇二	埃及	一〇一	丁抹	八九
世界増進 率より上 位にある もの	比律賓	一一〇	伊太利	一〇五	印度	一〇四	獨逸	一〇三

一九〇〇—一八年在ける各國貿易増進率と世界貿易増進率との比較

輸入 (世界増進率二一八を一〇〇としたるものに對する各國増進率の歩合)

世界増進 率より上 位にある もの	伊太利	四一九	モロツコ	四〇四	日 本	二四四	支那	二三六
世界増進 率より上 位にある もの	加奈陀	二二三	佛蘭西	二二〇	亞爾然丁	二〇〇	秘露	一九三
世界増進 率より上 位にある もの	北米合衆國	一六七	埃及	一六六	智利	一五六	比律賓	一五五
世界増進 率より上 位にある もの	暹羅	一四一	蘭領東印度	一四〇	伯刺西爾	一二一	英吉利	一一五
世界増進 率より下 位にある もの	アルゼリア	一〇六	新爾蘭	一〇四	濠太利	一〇三	丁抹	八八
世界増進 率より下 位にある もの	ボリヰア	九三	瑞 西	九二	印 度	八八	丁抹	八八
世界増進 率より下 位にある もの	西班牙	三二						

輸出 (世界増進率一九五を一〇〇としたるものに對する各國増進率の歩合)

世界増進 率より下 位にある もの	佛蘭西	五九						
世界増進 率より下 位にある もの	丁抹	九六	伯刺西爾	九二	英吉利	七二	西班牙	六五
世界増進 率より下 位にある もの	濠太利	一一九	瑞 西	一一四	新爾蘭	一〇九	伊太利	一〇八
世界増進 率より下 位にある もの	埃及	一三八	摩洛哥	一三六	蘭領東印度	一三五	伊太利	一二八
世界増進 率より下 位にある もの	比律賓	二五五	北米合衆國	二四七	智利	二四二	秘露	二二八
世界増進 率より下 位にある もの	日 本	四八〇	加奈陀	四七〇	支那	三〇八	亞爾然丁	二六四
世界増進 率より下 位にある もの	暹羅	二一〇	暹羅	二〇七	亞爾然丁	一七八	瑞典	一七五
世界増進 率より下 位にある もの	土耳其	九四	瑞典	九二	佛蘭西	九二	丁抹	八九
世界増進 率より下 位にある もの	和 國	九九	新爾蘭	九八	濠太利	九四	北米合衆國	九四
世界増進 率より下 位にある もの	諾威	一〇三	白耳義	一〇二	埃及	一〇一	丁抹	八九
世界増進 率より下 位にある もの	比律賓	一一〇	伊太利	一〇五	印度	一〇四	獨逸	一〇三

說 苑 各國貿易概観

輸出入合計 (世界増進率二〇八を一〇〇としたるものに對する各國増進率の歩合)

世界増進率より上位にあるもの	世界増進率より下位にあるもの
日 本 三三四	加 奈 陀 三二一
支 那 二六六	亞 爾 然 丁 二三一
比 律 賓 一九九	智 利 一九九
埃 及 一四九	佛 蘭 西 一四六
濠 太 利 一一〇	新 爾 蘭 一〇六
英 吉 利 一〇〇	印 度 九七
西 班 牙 四七	墨 西 哥 九七
	丁 抹 八八
	伊 太 利 三〇七
	北 米 合 衆 國 二二二
	暹 羅 一七三
	アルゼリア 一三六
	伯 利 西 爾 一〇一
	瑞 西 一〇一
	モ ロ ッ コ 二六九
	秘 露 二〇九
	ポ リ ゲ イ ア 一七〇
	蘭 領 東 印 度 一三四

是に由りて觀れば、戰前(一九一三年の狀態)に於いては世界貿易に對して比較的大なる割前を占むる諸國——後段參照——は、概して世界貿易増進率と僅に前後するが如き程度の増進率、又は之よりも低き程度の増進率を示し、比較的小なる割前を占むる諸國は概して世界貿易増進率よりも遙かに大なる増進率を示して居る。而して大戰最後の年たる一九一八年の狀態に於いては、英佛伊等の戰爭に直接密接なる關係を有せし國は輸入に於いては世界増進率より比較的大なる増進率を示し、輸出に於いては反對に甚だ低き増進率を示して居る。而して日本、加奈陀、支那、北米合衆國等の如く戰爭により好影響を受けたる諸國は、何れも皆輸出輸入共に世界増進率より甚だ高き率を示して居る。我日本が一九一三年に於いても一九一八年に於いても輸出に於いては最大の増進率を示して居ることは注目すべき現象である。

扱て右に述べたる所は何れも、單に金額の上より見たる増進率であるから、之は必ずしも各國

の貿易の眞實の増進率を示すものではない。金額上の増進は物價の騰貴によりて擴大せらるゝ所多きものであるから、貿易の本當の増進歩合を知るが爲めには、各國毎に輸出貨物輸入貨物の代價騰落の状態を調査して右に掲げたる増進率を修正せねばならぬ。併しながら私は各國輸出入貨物の代價騰落の状態を調査すべき資料を缺くが爲めに、右の修正を施して、茲に各國が對外貿易に於いて眞に幾許の増進を示しつゝあるかを説明し得ざるを遺憾とする。只、若し右の修正を施し得るならば、金額上に於いて甚だ微々たる増進を示しつゝある國、例へば西班牙、葡萄牙、希臘の如きにありては、眞の貿易は増進しつゝあるにあらすして或は却つて逐年減退しつゝあるべきことを、一月號に掲げたる世界物價騰貴の割合に稽へて推定し得ることだけは確言して誤りなき所であらう。

かくの如く前掲の増進率は各國の貿易が眞實に増進しつゝある有様を示すものではないが、併し之を併列して各國相互を比較せば、凡そ如何なる國が逐年その對外貿易發達しつゝありて、如何なる國が甚だ不振なるかの一般的状態を知り得るであらう。即ち之を戦前の状態に於いて見れば、亞爾然丁、支那、加奈陀、日本等は貿易の發達著しきものであつて、澳地利洪牙利、西班牙、葡萄牙、希臘等の如きは、その發達の最も微々たるもの又は寧ろ却つて眞實の貿易は減退しつゝあるものである。

### 三

各國貿易の金額上の絶對的増進率、即ち其國のみに就いて見たる増進率は右に述ぶるが如くて







一九一三年度世界貿易

輸入	金額	率	輸出	金額	率	合計	
						金額	率
伊太利	1,500,000,000	10.0	1,500,000,000	10.0	3,000,000,000	20.0	
英吉利	1,200,000,000	8.0	1,200,000,000	8.0	2,400,000,000	16.0	
印度	1,000,000,000	6.7	1,000,000,000	6.7	2,000,000,000	13.3	
露西亞	800,000,000	5.3	800,000,000	5.3	1,600,000,000	10.6	
日本	700,000,000	4.7	700,000,000	4.7	1,400,000,000	9.3	
新爾蘭	600,000,000	4.0	600,000,000	4.0	1,200,000,000	8.0	
葡荷牙	500,000,000	3.3	500,000,000	3.3	1,000,000,000	6.7	
北米合衆國	400,000,000	2.7	400,000,000	2.7	800,000,000	5.3	
秘露	300,000,000	2.0	300,000,000	2.0	600,000,000	4.0	
白耳義	200,000,000	1.3	200,000,000	1.3	400,000,000	2.7	
波斯	150,000,000	1.0	150,000,000	1.0	300,000,000	2.0	
獨逸	100,000,000	0.7	100,000,000	0.7	200,000,000	1.3	
土耳其	80,000,000	0.5	80,000,000	0.5	160,000,000	1.1	
智利	60,000,000	0.4	60,000,000	0.4	120,000,000	0.8	
ルーマニア	40,000,000	0.3	40,000,000	0.3	80,000,000	0.5	
加奈陀	30,000,000	0.2	30,000,000	0.2	60,000,000	0.4	
南亞聯邦	20,000,000	0.1	20,000,000	0.1	40,000,000	0.3	
蘭領東印度	10,000,000	0.0	10,000,000	0.0	20,000,000	0.1	

諾威	1,000,000,000	6.7	1,000,000,000	6.7	2,000,000,000	13.3
埃地利	800,000,000	5.3	800,000,000	5.3	1,600,000,000	10.6
濠太利	700,000,000	4.7	700,000,000	4.7	1,400,000,000	9.3
和蘭	600,000,000	4.0	600,000,000	4.0	1,200,000,000	8.0
ブルガリヤ	500,000,000	3.3	500,000,000	3.3	1,000,000,000	6.7
佛蘭西	400,000,000	2.7	400,000,000	2.7	800,000,000	5.3
伯刺西爾	300,000,000	2.0	300,000,000	2.0	600,000,000	4.0
埃及	200,000,000	1.3	200,000,000	1.3	400,000,000	2.7
丁抹	150,000,000	1.0	150,000,000	1.0	300,000,000	2.0
アルゼリア	100,000,000	0.7	100,000,000	0.7	200,000,000	1.3
亞爾然丁	80,000,000	0.5	80,000,000	0.5	160,000,000	1.1
希臘	60,000,000	0.4	60,000,000	0.4	120,000,000	0.8
墨西哥	40,000,000	0.3	40,000,000	0.3	80,000,000	0.5
支那	30,000,000	0.2	30,000,000	0.2	60,000,000	0.4
暹羅	20,000,000	0.1	20,000,000	0.1	40,000,000	0.3
比律賓	15,000,000	0.1	15,000,000	0.1	30,000,000	0.2
羅馬	10,000,000	0.0	10,000,000	0.0	20,000,000	0.1
瑞典	8,000,000	0.0	8,000,000	0.0	16,000,000	0.1
西班牙	6,000,000	0.0	6,000,000	0.0	12,000,000	0.0
世界總計	15,000,000,000	100.0	15,000,000,000	100.0	30,000,000,000	200.0

說苑 各國貿易概觀

一九二八年度世界貿易

	輸 入		輸 出		合 計	
	金額	率	金額	率	金額	率
伊 太 利	6,125,000	3.0	1,576,000	3.5	7,701,000	6.5
英 吉 利	11,315,000	1.8	10,125,000	2.7	21,440,000	2.0
印 度	1,825,000	0.3	1,015,000	0.3	2,840,000	0.3
露 西 亞	—	—	—	—	—	—
日 本	1,075,000	0.2	1,010,000	0.3	2,085,000	0.2
新 西 蘭	—	—	—	—	—	—
荷 蘭	1,015,000	0.2	1,075,000	0.3	2,090,000	0.2
葡 萄 牙	—	—	—	—	—	—
北 美 合 衆 國	6,125,000	3.0	1,010,000	0.3	7,135,000	3.3
秘 魯	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
白 耳 義	—	—	—	—	—	—
波 斯	—	—	—	—	—	—
獨 逸	—	—	—	—	—	—
土 耳 古	—	—	—	—	—	—
智 利	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
ルーマニア	—	—	—	—	—	—
加 拿 大	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
南 亞 聯 邦	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
蘭 領 東 印 度	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2

	輸 入		輸 出		合 計	
	金額	率	金額	率	金額	率
諾 威	—	—	—	—	—	—
埃 地 利 洪 牙 利	—	—	—	—	—	—
濠 太 利	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
和 蘭	—	—	—	—	—	—
ア ル ガ リ ヤ	—	—	—	—	—	—
佛 蘭 西	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
伯 利 西 爾	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
埃 及	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
丁 抹	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
ア ル セ リ ア	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
亞 爾 然 丁	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
希 臘	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
墨 西 哥	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
支 那	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
暹 羅	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
比 律 賓	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
モ ロ ッ コ	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
瑞 典	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
瑞 士	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
西 班 牙	1,015,000	0.2	—	—	1,015,000	0.2
世界總計	6,125,000	3.0	1,010,000	0.3	7,135,000	3.3



更に各國の世界貿易に於ける割合を比較し易からしめんが爲め、並びに各國がその世界貿易に於いて占むる割合が逐年如何なる消長を示しつゝあるかを知らんが爲めに、右に掲げたる統計表より千分率のみを抜き來りて、之を地域別及び逐年別に示せば次の如くである。

各國貿易の世界貿易に對する千分率

國名	輸入				輸出				輸出入合計			
	1900年	1904年	1908年	1912年	1900年	1904年	1908年	1912年	1900年	1904年	1908年	1912年
歐羅巴	33	30	29	28	26	25	24	23	29	27	26	25
伊太利	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
英吉利	20	18	17	16	15	14	13	12	16	15	14	13
露西亞	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
荷屬東	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
白耳義	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
獨逸	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
ルーマニア	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
諸威	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
奧地利	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
匈牙利	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
和蘭	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
ブルガリア	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
佛蘭西	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
丁抹	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
希臘	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
希臘	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
瑞西	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

說苑 各國貿易概観

第十二卷 (第四號) 一三五 (六三三)

說苑 各國貿易概觀

第十二卷 (第四號) 一三六 六三四

輸出入	輸 入				輸 出				輸出入合計			
	1905年	1906年	1910年	1914年	1905年	1906年	1910年	1914年	1905年	1906年	1910年	1914年
西班 牙	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
瑞 典	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
印 度	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
日 本	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
波 斯	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
土 耳 其	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
支 那	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
暹 羅	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
計	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
(二) 亞 細 亞	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
北 美 合 衆 國	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
北 亞 米 利 加	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
計	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
(三) 南 亞 米 利 加	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
智 利	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
秘 露	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200
伯 利 亞 爾	100	100	100	100	100	100	100	100	200	200	200	200

亞爾然丁 10 15 10 10 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95

(五) 大洋洲及南洋

新 爾 蘭 5  
 蘭 領 東 印 度 7 6 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26  
 濠 太 利 9 14 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53  
 比 律 賓 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31  
 計 13 17 21 25 29 33 37 41 45 49 53 57 61 65 69 73 77 81 85 89 93

(六) 亞弗利加

南 亞 聯 邦 1 1 10 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1  
 埃 及 6 8 7 6 10 8 9 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8  
 ア ル セ リ ア 6 5 5 6 8 5 6 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5  
 モ ロ ッ コ 1  
 計 3

前掲二種の統計によりて世界貿易の分布を見るに、戦前に於いては、世界貿易の最大部分は歐羅巴諸國の占むる所であつて、平均約六割七步九厘を占め、之に次ぐものは北亞米利加の一割四步三厘、亞細亞の八步、南亞米利加の四步三厘、太平洋及び南洋の三步六厘、亞弗利加の二步である。尤も南亞米利加と亞弗利加とは若干此統計に漏れたる所あるを以て、實際は尙幾分か其割合多かるべきであるが、それは極めて微々たるもので、大勢の觀察には殆ど影響せざる程のものである。又この表によりて見れば歐羅巴以外の諸國、即ち所謂後進國や植民地は、次第に世界貿易

易に於ける割合を増進しつゝあるが爲め、早くより國際貿易の隆盛となりし歐羅巴は世界貿易の最大部分を占めながらも、次第にその割合を減退しつゝあることが分る。殊に一九一八年には、特に大戦の影響により、歐羅巴の輸出は、北亞米利加の殆ど半分になつて居る。亞細亞も同年には輸出が激増して居る。

又之を各國別に就いて見るに、大戦前年の一九一三年に於いて、輸入にありて世界貿易の最大部分を占むるものは英吉利(千分の二八三)、獨逸(二三三)であつて、之に亞ぐものは北米合衆國(九〇)、佛蘭西(八一)、和蘭(七七)、白耳義(四三)、伊太利(三四)、奧地利洪牙利(三三)、印度(三〇)等である。日本は第十五位(一八)を占めて居る。輸出にありてもやはり英吉利(二六七)、獨逸(一三四)、北米合衆國(一二二)が最大部分を占め、佛蘭西(七二)、和蘭(六七)、印度(四三)、露西亞(四〇)、白耳義(四〇)等が之に亞ぐものである。日本は第十四位(一七)にある。然るに大戦の影響を受けたる一九一八年には、多少異なる状態を呈し、輸入にありては、英吉利(二七四)、佛蘭西(二八六)、伊太利(一三四)、北米合衆國(一一九)が最大部分を占め、大なる開きを以て之に次ぐものに加奈陀(四一)、日本(三五)、支那(三〇)等がある。輸出にありては北米合衆國が世界貿易に於ける總輸出額の三分の一以上(三二八)を占めて拔群の地位を占め、英吉利は八分の一以上(二二七)を占めて之に次ぎ、而して加奈陀(八三)、日本(五一)、佛蘭西(四八)、印度(四三)、亞爾然丁(四〇)等が又之に次ぐ所の大なる部分を占むるものとなつて居る。

前段に述べたる各國の貿易増進率は、必ずしも貿易の眞實の増進割合を示すものではないが、

尙大體の趨向は之によりて窺知し得べく、又茲に述べたる各國の世界貿易に對する千分率は、之を各國毎に年代を追ふて觀察すれば、他國との相對的關係に於ける當該國の貿易消長の有様を知ることが出来るものである。故に此二者を比較して觀察すれば、何れの國の貿易が發達著しきか何れの國が發達微々たるか、又何れの國が凡そ衰退の狀態にあるかを略ぼ明かならしむることが出来るであらう。

\*

大戰以前及び大戰終末時代の世界貨物交通の概略並びに各國對外貿易の大體の狀態は、一月號及び本號右に述ぶるが如き有様である。大戰終末時代の狀態は非常特別の事情によりて生じたるものであるから、之を以て今日及び今後の一般的狀態と看做すことを得ないの言ふ迄もない。又大戰以前の狀態も、國際間の關係及び社會組織が多少異なる趣きを呈するに至るべき將來の時代の貿易關係を推斷する材料としては、或は役に立つ所少いかも知れない。而も大戰以前の狀態より、大戰中の特別場合を經過して、世界貿易の一般的大勢並びに各國貿易消長の有様を通觀すれば、少くとも世界の貨物交通が現在如何なる有様にあり、各國の之に對する關係が如何なる狀態にあるか、と云ふことだけは、略ぼ推知することを得るであらう。之れ私がこの調査を試みたる所以である。(一〇・二・九)